



堀場製作所OB会

会報

通巻57号

発行日 令和8年6月20日

発行者 堀場製作所OB会

酒井 俊英

編集者 沢本 昌順

	ページ		ページ
◆研修旅行		○ボウリングクラブ	8
○一泊研修旅行 南紀	2	○カラオケクラブ	9
◆HOVC 活動 ボランティア部会		○ゴルフクラブ京都	9
○京都マラソンボランティア活動参加報告	4	○東京カルチャークラブ (TCC)	10
○桂川流域クリーン大作戦参加報告	4	◆2026年会社ニュース ピックアップ	11
○鴨川クリーンハイク	5	◆OB 会だより	
○工房学習活動	5	○ホームページの紹介	12
○鴨川茶店ボランティア	6	○寄稿について	12
○京都車いす駅伝ボランティア	6	○OB 会入会手続きについて	12
◆行事報告		○堀場 OB 会いどばた会議 運用開始!	12
○春の懇親会	7	○会員数	12
◆クラブ活動報告		◆編集後記	12
○山遊会	8		



川上大神宮

京都市バス9系統「西賀茂車庫」行きのバス終点から徒歩約10分のところに、川上大神宮があります。

川上大神宮は、平安時代初期(833年頃)に上賀茂神社の読経所が置かれたとされ、後に醍醐家の領地となり、それゆえ、伊勢神宮の御祭神である天照皇大神をお祀

りしている。

例祭は4月第2日曜日に「やすらい祭」がある。長保3年(1001年)京の都に疫病が流行し、これを鎮めるために、疫病退散を祈り、難を逸れたという故事に倣い行われている。花で飾った風流傘を中心に、赤い衣装に黒毛をつけた鬼たちが鉦や太鼓のはやしで踊りつつ町内を巡行する。春に流行るといふ疫病を鎮めるため、風流傘に疫病の根源を集め、疫社に封じ込めることが目的。風流傘の中に入れば、その年の厄を逃れることができると伝わる。やすらい祭は、川上大神宮で神事が行われ、周辺地域を巡り、いくつかの町内会で接待され、川上大神宮へ戻ります。やすらい祭が京都三奇祭のひとつと言われる理由は、鬼が主役、花笠に疫神を誘い込むなど古典的な祭りを継承しているためである。やすらい花(やすらい祭全体の名称)は、2022年秋にユネスコの無形文化遺産に登録されました。(三橋泰夫 記)

◆研修旅行

一泊研修旅行 南紀



【1日目】

今回は鉄道の遅延もなく、京都駅八条口に皆さん予定通り集合しました。京都東ICで混んでいた関係で、近鉄津駅には少し遅れて到着しました。東京組の4人が待っており、合流しました。紀勢道を走っていましたが、高速は熊野大泊まで開通していました。その後は下道を走り、新宮のあづま寿司で海鮮丼の昼食をとりました。



次に、熊野三山の一つである、熊野速玉大社に行きました。



次には、丹鶴城公園へ行きました。ここは隠れ名所で別名新宮城とも呼ばれ、新宮の繁栄の象徴となる立派な石垣が残っていました。頂上からは、眺望がよく新宮一望が見渡せました。桜と石垣、そして風景の絶景が楽しめました。

次に、大門坂へ行きました。熊野古道の出発場所で、徒歩組とバス組に分かれ、熊野三山の二つ目である那智大社を目指しました。私はバス組にしましたが、バス駐車場から那智大社までは、石段が延々



と続いていてやっと到着しました。

バス組が遅いせいか、那智大社についてしばらくすると、徒歩組も到着し、合流しました。



那智大社から歩くと、青岸渡寺をとおる三重塔へ。



那智の滝、桜のコラボを見て歩きました。



那智の滝は高さ 133m と日本一の落差を誇っています。

那智の滝を見終えた後、バスに乗車し、勝浦港の下見したあと、宿泊場所である亀の井ホテル那智勝浦へ向かいました。

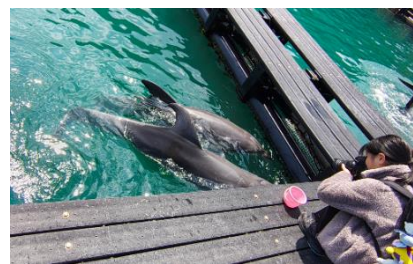


【2日目】

紀の松島めぐりまでは時間があつたため、漁港に向かうと、にぎわい市場が開いており、時間を過ごしました。紀の松島遊覧船では波が高かったため、短縮コースとなりました。島々をめぐり、途中洞門、洞窟温泉、など見ごたえのある景色でした。



次に、太地くじら博物館へ行きました。ここでは捕鯨漁の歴史、漁で使う「もり」など展示物と、イルカショー、くじらショー等を楽しみました。



《イルカの餌やり》

次に潮岬観光タワーへ向かいました。途中で観光スポットの橋杭岩を車窓鑑賞しました。潮岬観光タワーで昼食をとり、本州最南端の場所で記念撮影をしました。



その後、白浜とれとれ市場へ向いました。ここで東京組と別れ、京都組は帰途につきました。色々な観光名所があり、見所満載の旅となりました。

参加者 14 名 (敬称略)

酒井 俊英, 沢本 昌順, 湯浅 一郎, 三橋 泰夫, 古澤 幸之, 石黒 英憲, 野口 進治, 石川 達夫, 横浜 正樹, 近藤 義則, 鈴木 朋生, 山尾 泰生, 中村 正博, 平野 彰弘

(三橋 泰夫 記)

◆HOVC活動 ボランティア部会

京都マラソンボランティア活動参加報告



2026年2月15日京都マラソンの道路整備ボランティアとして、酒井、細川、沢本、笠川、佐々木、宮下、北川の7名が参加しました。場所は前年と同じ宇多野釣り堀弁慶前でした。明け方はまだ寒かったのですが徐々に暑くなり、選手は大変だったと思います。初めは一人二人と少なかったのですが、三時間、三時間半のペースメーカーが来るたびにランナーが道路を埋め尽くす状態。



16000人が通過するのに1時間以上かかりましたが無事に終了、選手に（がんばって）と声援と拍手で疲れましたが、いい一日でした。

（北川 光夫 記）

桂川流域クリーン大作戦参加報告



2月22日、桂川流域クリーン大作戦に酒井、細川、中村（正）、北川の4名が参加しました。朝から快晴で立っただけで汗がにじみ出る陽気でした。8時30分に松尾橋右岸に集合、9時注意事項の説明があり、上流（嵐山）に向かいゴミ拾いスタート、嵐山から来られる人たちの接点で折り返しました。ゴミの量は以前より少なかったです。陽射しがあり服を一枚脱ぐほどの暑さでした。気持ち良く1時間30分ゴミ拾いと散策をしました。



（北川 光夫 記）

鴨川クリーンハイク



4月29日、第一回鴨川クリーンハイクに、OB会から酒井、細川、中村（正）、岡田、松村、北川の6名と、岡田さんの友人の矢吹さんを加えた7名が参加。朝9時五条公園に集合、ボランティア総勢220人です。



曇り空に薄日ももれる絶好の日和、3班に分かれ五条から丸太町まで2.5Kmを歩き缶、ペットボトル、タバコの吸い殻など拾い、途中他社の人たちと話しながら歩きました。



(北川 光夫 記)

工房学習活動



3月2日(月)、京都学びの街 生き方探究館へ出向き、モノづくり学習支援員「京モノレンジャー」として「世界に一つの温度計」の工房学習を支援。堀場製作所から福島さん、武村さん、西川さん、中濱さん、OB会からは酒井さん、北川さん、沢本が参加しました。今回は山ノ内小学校の4年生65名の生徒さんが2班に分かれて温度計作りにチャレンジされました。全員無事に温度計が完成し、色々なサンプルを実際に測定しながら省エネについても学びました。

(沢本 昌順 記)



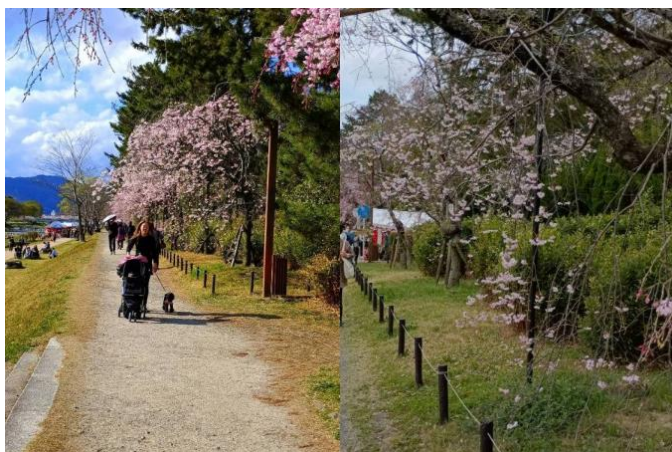
5月13日(水)京都学びの街 生き方探究館へ出向き、令和8年度最初のモノづくり学習支援員「京モノレンジャー」として「世界に一つの温度計」の工房学習を支援しました。堀場製作所から武村さん、長松さん、OB会からは酒井さん、森山さん、北川さん、沢本が参加。加えて生きかた探究チャレンジ体験で中学2年生2名がモノレンジャーとして参加、熱心に子たちを支援されていました。全員無事に温度計が完成し、色々なサンプルを実際に測定しながら省エネについて学びました。

(沢本 昌順 記)

◆HOVC活動 ボランティア部会（つづき）

鴨川茶店ボランティア

4月4・5日鴨川茶店を予定していましたが、4日は雨の為、知事と市長の挨拶のみとなり、5日のみの活動となりました。OB会から酒井、中村（正）、宮下、北川の4人が参加し、道路整理をしました。



なからぎの道の枝垂れ桜はまだ5分咲ぐらい、周囲の桜は満開です。植物園の駐車場は1時間以上の待ち時間です。

我がOB会は北大路通り鴨川横からなからぎの道の入り口までの道路整理です。午前中は曇っていたのですが、午後は快晴暑かったです。11時から高校生のブラスバンド、琴の演奏、お茶の接待がありました。北大路通りに立っていると、トイレは何処、コンビニは何処と聞かれました。参加者4人で場所を変わりながら、1日楽しくすごしました。

（北川 光夫 記）

【初参加】京都車いす駅伝ボランティア

3月8日に行われた「第38回 京都車いす駅伝」に、OB会として初めて参加してきました。今回のチームは、OB会メンバー（酒井、石黒、松村、中村、中井、細川）の6名に加え、堀場製作所自転車倶楽部から2名、さらにその友人3名も加わった総勢11名の混合編成です。当日はあいにくの強風で大変寒い一日で



したが、私たちは西大路円町エリア（仁和街道交差点～京都日産付近まで）の約1.5kmを担当。警察の方々やボーイスカウトの皆さんと力を合わせ、無事にコースの安全を守ることができました。



目の前を猛スピードで駆け抜けていく車いすの迫力には、メンバー一同圧倒されました！

（細川 浩司 記）

◆行事報告

春の懇親会



4月18日(土)、堀場製作所OB会 春の懇親会が「がんこ 高瀬川二条苑」で30名の参加で開催されました。懇親会は平野さんの司会で始まり酒井代表幹事挨拶、会社状況説明は、管理本部堀井愛士さんからお話いただき、本社ビル建築など気になるお話をしていただきました。宇野さんの乾杯にて開宴となりました。参加される皆さんの席は、受付にて抽選で決まりますが、毎回ですが、宴会が始まるとみなさん飲み物を持って移動され大いに盛り上がりました。そして今回は平野さん提案で参加者全員の近況を披露いただきました。みなさんの懐かしい思い出話や近況など、お話される雰囲気は、現役時代のホリバリアンそのもので、若さと輝きを感じました。美味しい食事と沢山のお酒・ソフトドリンクをいただきました。皆さんとの楽しい時間は大変に早く過ぎ、源田さんから中締めをしていただき、集合写真を撮影して、ちょっと酔っばらって帰宅しました。

懇親会では、皆様とお話しさせていただくとあの時代に戻り、いろいろな思い出が甦ります。今後もOB会では各種行事が企画されていますので、みなさんと

楽しい時間を過ごしたいと思いますので是非参加をお願い致します。



(笠川 重美 記)

今年より、OB会の懇親会は昼間開催となりました。足元が明るいうちに安心してご帰宅いただけます。皆さま、奮ってご参加ください。

◆クラブ活動報告

山遊会



年月日 令和8年2月27日(金) 曇
山行先 山科歴史探訪
参加者 丸山 博・ 宇野 久二夫・ 渡辺 正資・ 下川 和子・ 下川 博司

午前8時30分三条京阪バスターミナルに集合し、43分発山科駅行きバスに乗り御陵東で下車天智天皇陵へ向かう。朝の静寂の中参道を進み御霊に拝礼。京阪京津線御陵駅9時41分発で追分駅まで3駅、ここで渡辺さんと落合い髭茶屋追分へ。ここは東海道五十三次と五十七次の分岐点で「みきは京みちひだりはふしみみち」の道標がある(慶長20年(1615年)大阪城が落城すると、江戸幕府が伏見・淀・枚方・守口に宿場を設け大阪(高麗橋)まで57次とし、参勤交代の折西国大名が入洛し朝廷に接触するのを避けた)。ここで恒例の記念写真を撮り、少し西に行った閑栖寺に立ち寄り車石を見学(天津から京都まで3里の道を牛車の通行を楽にするため花崗岩を敷設、牛車の通行で擦り削られ二本の深い窪みが出来ている)。

引き返して伏見街道を南下、国道1号線を横断してさらに進む。新幹線の高架を潜り皇塚へ向かう予定であったが、時間も押し迫ってきたので割愛し山科本願寺南殿跡を目指す(山科本願寺は文明15年(1483年)本願寺第8世蓮如により建立、天文元年(1532年)六角氏により焼き討ちにされ焼失)。道を少し西に歩き右手の細い地道を入ると、竹やぶと化した土塁状の土地がフェンスで囲われていて、「南殿御旧跡地」の看板が取り付けられていた。さらに西に歩き蓮如上

人御指図の井へ、道端に大きな井戸があり真新しい解説板が軒に掲げられていた。

この後蓮如上人御廟所、山科本願寺土塁跡等を巡る予定であったが時間が11時30分を過ぎたためすべて取りやめ、総会会場である山科ホテル山楽に向かうことにした。12時丁度に倉原さんとホテルのレストランで落ち合い6名で第15回総会・懇親会を開催。食事はハーフビュッフェ選べるメイン&デザート一皿付、各自好みをオーダーし後はビュッフェの料理を食べ放題、ソフトドリンク飲み放題に加えて本日は感謝デーとかでスパークリングワインも飲み放題のおまけつき。しばし喫食に専念して総会に、次回例会を5月第4週または6月第1週のウイークデーに実施を決定、7月1日に予定の立山室堂一泊遠征の打ち合わせをして14時前にお開き。ホテル前で解散とした。

(記 下川 博司)

ボウリングクラブ



4月11日(土)、堀場製作所OB会オープンボウリングカップを開催しました。

ラウンドワン河原町店5階はレーンのオイルが少ないので、曲がりやすくコントロールが難しく良いスコアは出にくい状態です。その厳しいコンディションで、見事優勝は中村まり子さんです。2位は安定感のある鳥島義則が続きました。

試合結果

順位	氏名	1G	2G	3G	計	HD	NET
優勝	中村まり子	145	154	168	467	44	599
2位	鳥島義則	165	160	167	492	30	582
3位	中村勝美	168	154	175	497	18	551
4位	長澤穰	187	186	190	563	-6	545
5位	毛利隆文	169	177	168	514	75	35
6位	芦谷恭通	100	100	95	295	71	508
7位	平松尚武	154	204	156	514	-6	496
8位	田中光子	116	114	85	315	56	483

月例会のご案内

毎月第2土曜日10時からラウンドワン河原町店で開催。ご家族も歓迎です。現役の方もご参加下さい。

会場：ラウンドワン河原町店(河原町蛸薬師上ル西側)

参加料：2500円=投げ放題(スコア提出3G)+賞金代+運営費

参加される方は、2日前までにご連絡下さい。

よろしくお願ひします。

終了後、懇親会開催します(希望者)。

世話役：毛利隆文&田中光子

連絡先：mouri@stage-kyoto.com

携帯：090-3998-9933

(毛利 隆文 記)

カラオケクラブ



2月28日(土)1時より千鶴羽にて開催致しました。当日は、参加者が7名と少なく残念でしたが、カラオケの方は絶好調で大川さん得意のサザン「TSUNAMI」他熱唱、当会の歌姫分部さん「foryou」を、

2回連続参加の宮下さんなかなかのカラオケ通で沢田研二他爆唱、石黒さん、中村さんマイペース(笑)



あっという間に5時となり全員で「青春時代」を合唱して散会となりました。

参加者:大川、石黒、中村(正)、分部、宮下、他1名
(小川 柁幸 記)

ゴルフクラブ京都



滋賀カントリー倶楽部の開催でした。

1週間前の天気予報では雨の予報でした。しかし、当日は、曇りがちでしたが最後まで雨が降らずプレーすることができました。参加者数は、17人。5組で実施しました。ルールはダブルペリア方式で実施しました。1位宇野久二男さん、2位柳田祥男さん、3位大西敏和さんとなりました。賞品は、順位賞 飛賞、ニアピン賞、ドラコン賞、ドラ短賞、BB賞、エンジェル賞と有志からのゴルフボールとワインの提供があり、全員が何かの景品をもらえる運びとなり一日楽しく怪我もなく無事終了することができました。また、皆様にご協力いただきありがとうございました。

次ページに続く➡

◆クラブ活動報告 (つづき)

★今回の参加者(順不同)

石田耕三 柳田祥男 山田毅 桐野茂 永井博 中村勝美 宇野久二男 小林正義

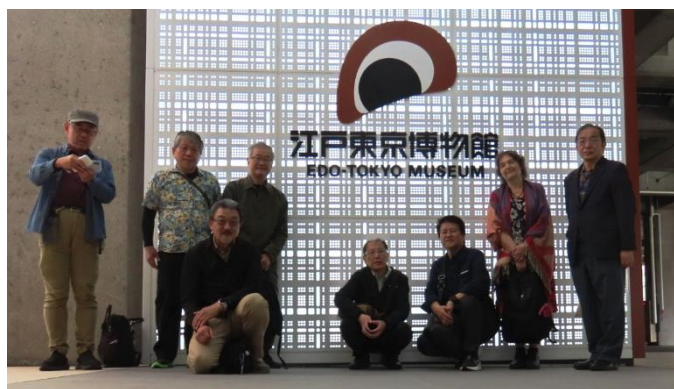
小菅博之 倉原政治 向原和秀 大西敏和 中村正博 河合治男 佐々木一訓 杉山頼道

早田 善孝 (幹事 小菅博之 副幹事 大西敏和)

次回は 2026/11/13(金) 滋賀カントリー(信楽カントリー田代コースの奥)の開催予定となります。ご参加をお待ちしています。

(大西 敏和 記)

東京カルチャークラブ(TCC)



4月17日(金)、1993年に開館した東京都江戸東京博物館は、2022年4月1日から大規模改修工事のため4年間休館していましたが、2026年3月31日にリニューアルオープンしました。今回、改装後の展示内容を見学するため、当館を訪問しました。当初は14時集合で2時間30分の見学を予定していましたが、展示の評判が高いことから、希望者は午前中から各自見学する形に変更しました。午前組は横浜さん、近藤さん、鈴木さん、ナタリアさん、私の5名、午後からは佐藤さん、横山さん、尾崎さんの3名が合流し、計8名で見学を行いました。展示は、江戸時代から現代までの約400年にわたる東京の歴史を体系的に学べる構成となっています。エレベーターで6階へ上がると、江戸の交通の起点であった日本橋が原寸大で復元されており、橋を渡ること江戸の街へ入り込むような演出が施されています。今回の改修では、展示室に巨大スクリーンが新設され、江戸と現代の空の移り変わりなどが映し出されることで、空間全体で時代の変化

を体感できるようになっていました。江戸の町並みを再現したエリアでは、朝顔売りや天ぷら・寿司の屋台などが登場し、当時の街を歩いているような臨場感があります。庶民の住まいである長屋の内部に入れる展示では、生活の様子をより具体的に理解できました。また、江戸城、商家や娯楽文化を紹介する精密な模型は、建物内部まで細かく再現されており、江戸の暮らしを視覚的に学ぶことができました。「江戸の美」コーナーはギャラリー形式に刷新され、歌川広重の『名所江戸百景』が100枚以上展示されていました。現在も面影を残す風景もあり、当時との比較が興味深い内容で、江戸時代だけでなく明治以降の文明開化、関東大震災、昭和の生活文化など、近代以降の展示も充実しており、東京の変遷を多角的に学ぶことができました。



見学後は博物館入口で記念撮影を行い、その後東京駅へ移動して懇親会を開催しました。



久しぶりに集まったメンバー同士で交流を深める良い機会となりました。(石川 達夫 記)

◆2026年 会社ニュースピックアップ

◎「ハタラクエール2026」で「優良福利厚生法人（総合）」を受賞



HORIBA グループ（以下、当社）は、福利厚生表彰・認証制度実行委員会が実施する「ハタラクエール2026」において、「優良福利厚生法人（総合）」を2年連続で受賞しました。

本賞は、福利厚生の実践・活用を力を入れる企業・団体・自治体を表彰する制度です。今回は応募の中から「福利厚生推進法人」として323法人が認証され、その中から特に優れた取り組みを行う「優良福利厚生法人（総合）」として、当社を含む12法人が表彰されました。当社は、社是「おもしろおかしく」の実現に

向けて、従業員とその家族が生きがい・働きがいを高め、心身ともに健やかな生活を送れるよう、福利厚生の実践に取り組んでいます。今回の審査では、人事・労務上の課題に対し、適切な福利厚生サービスを提供している点が高く評価されました。育児や介護などさまざまな事情を抱えながら働く従業員が、仕事と生活を無理なく両立できるよう、状況に応じた制度・サービスの拡充を進め、利用促進にも取り組んでいます。また、心身の健康増進や社内コミュニケーションの活性化を目的に、従業員同士が集い、つながりを深められるイベントの企画など、環境づくりも進めています。

今後も、従業員一人ひとりの力を最大限に引き出し、多様な人材が活躍できるよう、福利厚生の実践と職場環境の整備に取り組んでいきます。



◎車両熱マネジメントシステム評価設備のビジネスを本格展開

～フロントローディングによる開発効率化とコスト削減に貢献～



株式会社堀場製作所（以下、当社）は、「車両熱マネジメントシステム評価設備」（以下、本設備）のソリューション提供を本格展開します。車両熱マネジメントとは、車両内のモーター・バッテリーなどを冷却・温調するシステムや車室空調システムなどとの間で熱をやり取りし、温度を適切に制御・管理する技術です。脱炭素社会の実現に向けてエネルギー利用の効率化が求められる中、自動車業界においてもその重要性は高まっており、特に電気自動車（EV）では、航続距離の延長やバッテリーの長寿命化にも寄与する技術と

して注目されています。本設備は、電気自動車やハイブリッド車に求められる高度な熱マネジメントシステムを評価する設備です。バッテリーやモーターなどの熱を模擬し、ラボ内で-30℃から50℃※1までの幅広い温度条件やさまざまな走行状態を再現した試験ができます。これまで試作車を用いて実施していた試験を本設備で行うことで、フロントローディングによる開発期間の短縮や試作車数の低減など、コスト削減に貢献します。また、本設備の本格展開に伴い、研究開発・生産拠点「HORIBA BIWAKO E-HARBOR」（滋賀県大津市）内にある自動車開発試験設備「E-LAB」を今年5月に一部リニューアルし、本設備を導入しました。最新の「車両熱マネジメントシステム評価設備」をお客様にご体感いただくとともに、既存のバッテリー評価設備などと組み合わせた新たなソリューション開発にも取り組みます。当社は今後も、多様化する自動車開発ニーズに応え続け、エネルギーの利活用に寄与する幅広いソリューション提供を通じた持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



◆OB会だより

ホームページの紹介

各種行事をはじめ、クラブ活動やHOVC、会報など、記事の検索性が向上し、とても見やすくなりました。また、動画も掲載出来る様になりました。



寄稿について

会報に掲載する寄稿文を募集しています。テーマは特に決めていません。

◎旅行の感想 ◎地域での活動 ◎地域の祭り

◎地域の名所・旧跡の紹介 など

身近なテーマを気軽に寄稿願ひ致します。

会報への寄稿文、ホームページへのクラブ活動、ボランティア活動等の諸活動報告をされる場合、おおむね下記の文字数でお願い致します。

- ◆会報へ寄稿文 150文字程度
- ◆ホームページへの活動報告 800文字以程度
- ◆写真は必ず1~2枚添付ください。
- ◆寄稿は10月末、4月末を目途に提出願ひします。会報は年2回発行します(6月、12月)。
- ◆著作権について ・書籍から引用の時は出典を明記してください。(発行元、書籍名、著者) ・新聞からの文面、写真の引用は新聞社の承認を必ず得てください。

- ◆活動報告は行事終了後、直ちに報告願ひします。
- ◆会報への投稿には記念の品を進呈させていただきます。
- ◆送付先 会報事務局編集責任者 沢本 昌順 メールアドレス horiba.ob@gmail.com

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2
堀場製作所OB会 会報事務局宛

OB会入会手続きについて

堀場製作所OB会に入会ご希望の方は、下記の手順で手続きください。

- ① 堀場製作所OB会のホームページを開ける。
- ② 画面上の「入会のご案内」をクリック



- ③ 「入会のお誘い (PDF)」の記載内容を確認
- ④ 下記いずれかの方法で申込み



◎「入会申込フォーム」
必要事項をご記入の上送信してください。

◎メールもしくは郵送
「入会申込書」に必要な事をご記入のうえOB会事務局宛にお送りください。



ご不明な事は、「お問い合わせフォーム」にてOB会事務局へお問合せください。

堀場OB会いどばた会議 運用開始!

会員の皆様が親睦を深め、会の情報をいち早くお届けするための場です。右のQRからLINEに入れます。政治、宗教、営利目的の船団や勧誘、スポーツチームへの過度の応援などの投稿はお控えください。また、他人の中傷、公序良俗に反する内容、機密情報の掲載は厳禁です。ルール順守でご参加ください。



会員数

会員数272名 (2026年5月31日現在)

編集後記

お陰様で5月に古希を迎えました。平均寿命が30歳代の江戸時代に古希を祝う風習が一般庶民に定着。当時は70歳まで生きることが「希」で、祝ったそうです。ふり返って現在の日本人は平均寿命が80歳を越え、新たな気持ちで人生100年時代のスタートを祝う風習とも言えます。(沢本昌順 記)